



重点アクション

- ✓ 不要な照明の消灯の徹底
- ✓ エアコンの設定温度の見直し
- ✓ OA機器の不要時の電源オフ等

【すぐできるアクション】

節電対策メニュー		削減効果	効果を高める取組など
照明	不要な照明を消灯する <small>カット!</small>	*建物全体に対して 2~4%	・直接事業活動に支障とならない広告照明等を消灯する
	照度の見直しを行う <small>カット!</small>	+α	・照明の間引きを行う
空調機	エアコンの設定温度は28℃を目安に設定する <small>カット!</small>	*建物全体に対して 1~4% (2℃上げた場合)	・フィルターの清掃を行う ・ブラインド、カーテンなどにより日射を遮蔽する
	室内CO2濃度を調整して外気取入量を削減する <small>カット!</small>	+α	・環境衛生管理基準内(1000ppm以下)で調整する
OA機器	長時間席を離れるときは電源を切るか省電力モードに設定する <small>カット!</small>	*建物全体に対して 3%	・退社時にプラグを抜く
圧縮機	コンプレッサー吐出圧を低減する <small>カット!</small>	8%	・フィルターの清掃を行う
生産設備	ライン停止時や非操業時に設備の電源を切る <small>カット!</small>	+α	・ユーティリティ設備自体も停止する
その他	エレベーター・エスカレーターの一部を停止する <small>カット!</small>	+α	
	自動販売機内の蛍光灯を消灯する <small>カット!</small>	0.6%	
	温水洗浄便座の節電機能等を使用する <small>カット!</small>	33%~38%	・ふたをしめる ・設定温度を変更する
ピークシフト	ランチシフト(昼食休憩を午後1時~2時へ) <small>シフト!</small>		・勤務時間を朝方へシフトする
	お盆周辺で夏期休暇や年休を積極的に取得する <small>シフト!</small>		

*建物全体に対する節電効果

【ステップアップアクション】

節電対策メニュー		削減効果	効果を高める取組
社内体制	省エネルギーのための社内体制を整備する <small>チェンジ!</small>	+α	・省エネルギー診断を活用する
照明	蛍光灯を高効率蛍光灯やLED照明に交換する <small>チェンジ!</small>	約40%	・照明器具の清掃を行う
その他	デマンド監視装置を導入する <small>チェンジ!</small>	+α	

※資源エネルギー庁「小口需要家の節電行動計画の標準フォーマット」、(財)省エネルギーセンター「工場の省エネルギーガイドブック2010/2011」「電力供給不足に伴う具体的な緊急節電対策」、名古屋市「省エネ対策虎の巻 病院・老人ホーム・オフィスビル編」、内閣官房(節電啓発等担当)・経済産業省「各種家電製品の省エネ対策による試算効果」を基に長野県が作成